

星屑

May 03

No. 338

熊本県民文化賞受賞



知事応接室で記念撮影

熊本県民天文台

くまもと県民文化賞表彰式

先月号でお知らせしたとおり、熊本県民天文台が「くまもと県民文化賞（地域文化活動部門）」を受賞し、3月19日に県庁知事応接室において表彰式が行われました。表彰式には、艶島台長と宮本名誉台長のお2人が出席されました。

表彰式は午前10時30分から開催されました。午前10時には艶島台長と宮本名誉台長はロビーに集合、他に中尾富作さんとわざわざ合宿中の阿蘇から駆けつけてくれた中尾達也さん、徳尾さんそれと小林Mが立ち会いました。

表彰式の模様をドキュメンタリーっぽく報告します。



今回で第13回となるくまもと県民文化賞の受賞者は、次のとおりでした。

地域文化部門

肥後神楽会

熊本県民天文台

あざ芙蓉子氏(俳句)

年間文化活動部門

熊本県立盲学校アンサンブル同好会

生活活動部門

福山 譲氏(ひょうたん栽培加工)

特別賞

宮崎珠太郎氏(竹工芸)

県庁5階にある知事応接室に受賞者が集まり、マスコミも取材の準備等を進めています。

開会の10分くらい前には、受賞者やその推薦者が着席し、司会の方から表彰式の式次第について説明が行われました。

説明が終わると、いよいよという感じです。潮谷県知事が来られるのを待つだけとなりました。

出席者もこのときが一番緊張されているようで、艶島台長も、宮本名誉台長もいつになく緊張されているようでした。



「くまもと県民文化賞」は、地域の文化の振興に貢献する活動を行ったものに対して、その功績をたたえるとともに今後の活動を奨励し、県内各地における文化活動の促進を図り、本県文化の振興に資する事を目的とするとされています。

表彰の決定方法は、熊本県教育長、市町村長又は熊本県文化協会長のいずれかからの推薦に基づいて、熊本県文化振興審議会に諮って、毎年7件を限度として県知事が決定することとなっています。

熊本県民天文台が今回表彰されたのは、城南町長の推薦をいただいたものです。

当日、城南町からは早川収入役が町長の代理で出席されていました。これまでの一般公開等の活動や20周年記念式典等のイベントを火の君文化センターのスタッフと一緒に行ったことを受けて推薦いただきました。



いよいよ潮谷知事も着席され、表彰式が始まりました。

最初に今回の受賞者とその推薦者の紹介があり、表彰状と副賞が知事から授与されます。



表彰状が潮谷知事から読み上げられます。次のページをご覧いただくとわかりますが、表彰状の内容は受賞者ごとに書かれていて、所謂「以下同文」というものはありません。

受賞の瞬間をもっと近くから写真を撮りたかったのですが、ご覧のとおり知事と受賞者の周りには、マスコミのビデオカメラがいっぱい近寄れませんでした。

くまもと県民文化賞

地域文化活動部門

熊本県民天文台様

あなたがたは長年にわたり天文台を一般に公開し天文講習会や星空観察会を行つて多くの人々に天文に親しむ機会を与えるとともに天体観測や研究活動に熱心に取り組まれ小惑星を発見されたなど本県文化の向上に貢献されましたその功績をたたえこれを賞します

平成十五年三月十九日

熊本県知事 潮谷義子

手すき和紙の表彰状です



副賞の盾





知事の祝辞（要約）

景気や経済が落ち込んでくると、私たちの目は文化に向かなくなったり、どこかで切り捨ててしまったり、そういうことが起こりがちですけれども、県民文化賞というものを通しながら、文化の営みがいかに大事か伝えたいと考えています。

今日受賞に輝かれた方々は、目に見えない形で感動や優しさ、あるいは人間性を回復させるエネルギーを伝えていらっしゃると思っています。

皆様にはストレートには届かない場合もあるかもしれません、自分なりに今申し上げましたことを受けとめているということをお伝えしたいと思います。

皆様におかれましては、今後も研鑽され、技を磨かれ、県民に感動や五感に様々な迫り方をしていかれるよう願っています。

本日はおめでとうございます。



受賞の喜びを一言

本日は立派な賞をいただきありがとうございます。

私たちは、県内に住んでいる星が好きなものの集まりです。小さな力を集めて、つないで20年間やってきました。

大きな賞をいただいたので、いつまでも続けられるようにがんばりたいと思います。



表彰式が済んで

表彰式終了後、記念写真の撮影があり、すべての行事が済んでほっと一息のお二人です。

表彰式の模様は、天文台でDVDで見ることができます。

星の停車場(29) カミのけ座

土山由紀子

青嶺香る美しい季節の到来です。けれども対照的に、空の方は霞んで星もぼんやりしていますね。心なしか星の数さえ少なく見えます。

それもそのはずで、春、私たちは星が少ない銀河系の北極方面を見上げているのです。星は銀河系の銀河面に沿って多く存在していますから、銀河面向いている夏冬は比較的にぎやかな星空に、銀極に向いている春秋は寂しい星空になっています。

今月は、銀河系の北極を抱くカミのけ座を巡ってみましょう。

カミのけ座は、しし座・あとめ座・うしかい座・りょうけん座・あおぐま座に囲まれた微かな星の群れで、1602年、デンマークの天文学者ティコ・ブラーエによって正式に星座として制定されました。

非常に正確な天体観測を肉眼のみで行った最後の天文学者、ティコ・ブラーエ。彼が制定したとされる星座は、全天88星座の中でカミのけ座だけです。ティコが天動説を立証するために行った素晴らしい観測データは、助手のケプラーによって地動説立証に活用されるという皮肉な結果となってしまいましたが、古代から知られた美しいカミのけ座に確固たる地位を与えた功績は、今日も色あせることなく輝いています。ティコはデンマークとスウェーデンの間の海峡に位置するベン島で長年観測を行っており、ここには今も復元されたティコの天文台と空を見上げるティコの銅像を見ることができます。

このように、カミのけ座はトレミー48星座に含まれず、故にティコの時代まで正式な星座として認識されていませんでしたが、起源は古く、紀元前3世紀のギリシアの博学者エラトステネスによって、“アリアドネの髪”と/or “エジプトのベレニケ女王の髪”などと記されています。その後も、オランダの地図製作家メルカトルが1551年に制作した天球儀ほか、いくつもの文献によって存在を示され、知られていました。

カミのけ座には星座に相応しい美しい伝説が伝わっていますが、これが一風変わっています。神話ではなく史実に基づいた実在の人物が主役なのです。

舞台になるのは紀元前3世紀のエジプト。当時エジプトを治めていたマケドニア王朝の王ピトレイオス3世の妻ベレニケは、美しい琥珀色の髪の持ち主で、その髪の美しさは近隣諸国にまで響き渡るほどでした。

物語はエジプトとアッシャリアの戦いの時です。ピトレイオス3世が軍を率いて出陣すると、ベレニケは夫を心配するあまり、愛と美の女神アフロディーテの神殿へ行き、夫が無事に戻ったら髪の毛を捧げるという誓いを立てて祈りました。ピトレイオス3世が凱旋すると、ベレニケは誓い通りその美しい髪を切り落とし神殿に捧げましたが、翌朝、髪の毛は神殿から消えてしまいます。王は大怒り、神官らをその場で処刑しようとしました。しかし、そこへ宮廷天文学者コノンが現れ、カミのけ座の星々（一説ではこのとき現れた彗星）を指して言います。「ご覧下さい！ 王妃の髪は一つの神殿に置いておくにはあまりに美しすぎるので、世界中の人々に愛でられるよう、神々によってあそこへ置かれたのです」

王はこの説明にたいそう満足し、ベレニケは彼女の心がアフロディーテに届いたことを知って喜んだということです。

ベレニケは、プトレマイオス3世の死後ベレニケ2世として即位し王位争いの最中に暗殺されましたが、彼女の美しい姿は、今もプトレマイオス3世の治世に作られた8ドラクマ金貨と10ドラクマ金貨の中に見ることができます。また、彼女のために名づけられた古代都市ベレニケは、今もリビアの港町ベンガジとして残っています。

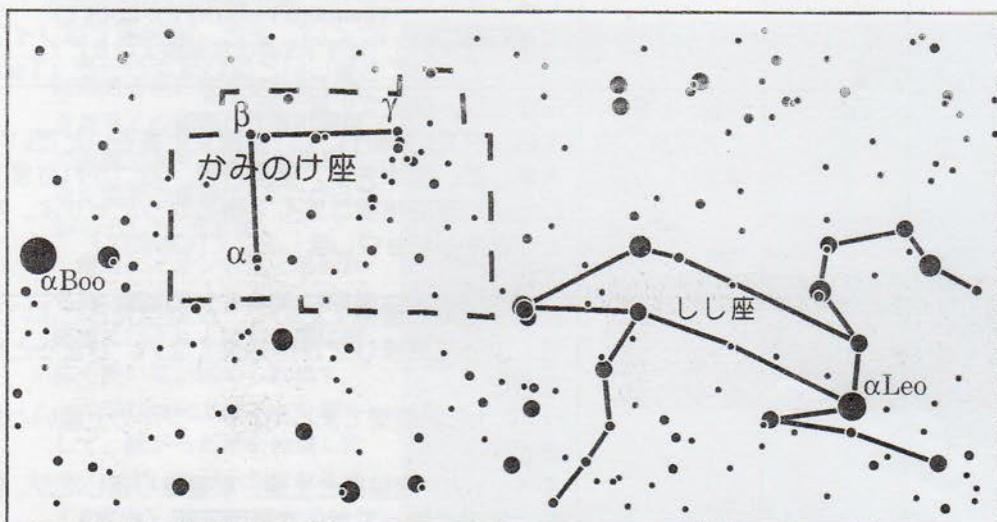
別の伝説では、12年間続いた長血をキリストによって癒されたエルサレムの女（新約聖書／マルコ5-25・マタイ9-20・ルカ8-43）ペロニカが、かみのけ座と結びつけられることもありますが、これは、ベレニケの名をラテン語化すると“ペロニカ”になることから生じた混同のようです。

かみのけ座は、このほか、しし座の一部として獅子の尾の先端にある毛の房に見立てられたり、あとめ座の一部として乙女が持つ麦の束、あるいは糸巻棒として見られたりしてきました。バイエルはこの星座のことを“バラの花環”と呼びましたし、“アイビーのリース”“象牙の花輪”などという呼び名も残っています。

また、バビロンの都を舞台にしたピュラモスとティスベの悲恋物語から、バビロニアでは獅子（しし座）の近くに落ちているペールにも見られていました。

結婚が許されなかつたピュラモスとティスベは駆け落ちを決意し、桑の木の下で落ち合う約束をしますが、先に来たティスベの前に突然ライオンが現れ、彼女はペールを捨てて逃れます。ライオンは獲物を食べたばかりの皿だらけの口でペールを引き裂き立ち去りますが、そこへ来たピュラモスは、血まみれのペールを見て恋人が食い殺されたと勘違いし、自ら命を絶ってしまいます。戻って来たティスベもピュラモスの命を奪った刀で後を追い、以来、桑の木は若い恋人たちの死を悼むように暗赤色の実をつけるようになり、ティスベのペールも星になって獅子の近くに輝いているのだということです。

かみのけ座で固有名を持つ星は α 星（4.3等）のディアデムだけ。王冠やヘアバンドを意味するラテン語 diadema が語原と考えられ、近世になってつけられた名前です。



長い間連載していただき大好評だった「星の停車場」は、今回で終了となりました。筆者の土山さんはこの連載の原稿執筆のため、毎月数多くの文献を調べ、日本語の文献では足りず外国語の文献多数も参考にされていました。それだけに、例を見ない正確な記述と独特の語りには定評がありました。今後、特別号などでの寄稿という形でいつか88星座の完成を見たいと思っています。長い間ありがとうございました。（編集部H）

3月の県民天文台～運営日誌より～

開台率 10日/14日=71.4% 一般来台者数 72名 会員来台 40名

日付	天気	来客数	担当運営	記事
1日 (土)	くもり	32名	鶴島、中島、	「白川わくわくランド」の事業。 小学生～中学生まで 26名、スタッフ 5名 (川端さん含む)、保護者 1名、計 32名 望遠鏡見学、電子紙芝居 約 1 時間ほどでした。雨の中で。(中島)
2日 (日)	快晴	7人(3グループ)	高田、小林M	シリウス、木星、土星、カノーブス、リゲル、M42、 M45 カーペットのスイッチが入りっぱなしでした。おそらく昨日から(高田) 小林J
8日 (土)	曇/霧	0名		トークアバウト 3/21 (金) くまもと県民文化賞受賞パーティー 3/19 午前 10:30 授賞式、県庁。代表 Tsu、宮本、2名 資料館より Tel 有り。クロネコヤマトより届いて いるとのこと。要領に訪問、「日本天文学会」
9日 (日)	晴	2名	鶴島、高田	月、土星、木星、シリウス、M42 (Tsu) マンガ持ってきてました。「国民クイズ」上、下巻。 ヒマな時に読んでください。(高田)
12日 (水)	ハレ		小林J、松本、 鹿釜	土星、木星
14日 (金)				専用、ADSL 申込 3/25 午前、ISDN→ADSL 変更になります。 (Tsu)
18日 (火)	曇		Tsu	カラービデオカメラのテスト。撮影の為の道具だ てはうまくいったが、適正露出の巾がせまくて、 とてもあつかいにくい。また、低照度ではノイズ が多くて、とても美しいとはいえないかった (Tsu)
19日 (水)	はれ?	0名	鶴島、小林J、 TOMMY 中尾	三者会談。県民文化賞の話など。 本日、10:30 県庁にて、県民文化賞をいただきて きました。宮本先生、鶴島台長、おつかれさまで した。知事応接室は広くて明るかったっすよ。ち ょっとキンチョウしました。(TOMMY) 小林J
20日 (木)	晴		松本	仕事で城南方面来てたので、夕刻空見るとよい天 気。よって見ましたが誰も来ない、ひょっとし たらと…。 NTT から郵便来てました。テーブルの上置いとき ます。 3/11 (火) 鹿釜氏と土星、木星撮りましたが、ま た土星全く写っておらず原因不明 (松本)

21日 (金)	雨			雨のため来台者なし。くまもと県民文化賞記念パーティー。みんなで楽しくパーティー。それにしても老人はみんなよく飲む！1年を考えて欲しいなあと考える…！（中島） 艶島、小林M、小林J、中島、西崎、高田、中尾T、中尾の、艶島、弓立、山田♂
22日 (土)	晴	18名	中島、中尾の、艶島	18名、香港（1人）台湾（2人）…地元の人？、ボーズカウト 10名+3名、アベック 1組、2名土星、木星、M42、シリウス、ペテルギウス 今日は天頂付近では木星、土星が良くみえた。M42 もコントラスト良く大変見えていて気持ちがよかったです。2ヶ月ぶりの晴天での運営。やはり晴れないといけませんね！ 木星、M42 撮影。S2Pro 試写。思ったよりも、いや以上にとてもよく写ってびっくり。鏡筒はもう使わないのかもしれません…。（中島） 香港からの研修生は天文に詳しく、星間、古墳公園に来て「天文台」があることを知り、週末の晴れた夜にやって来たとか。デジカメで木星を撮影してもらい、ノートPCの画面で彼らが撮影した画像を処理しながら木星についての解説をしたら大変よろこばれた。彼は熱心に中国語で他の2人に解説してくれた。香港の光害についても話した（Tsu）
23日 (日)	くもり のち晴		Tsu	夕方から曇りになったが、天文台に来て、届いていた本など読んでいた。20時前頃、帰ろうかと思って外へ出てみたら、星が見える。もうしばらく待って見ることにした（Tsu）
25日 (火)	くもり		Tsu	ADSL 切替作業。昨日から MODEM の到着を待つが来ず、不安なまま当日になった。9:30頃いきなり「切り替えます」の連絡があり、「昨日 MODEM が届かず、問い合わせ中」と返事。スタッフモンドのすえ、今朝、歴史民俗資料館に届いていたことが判明。切り替え後、速度計測「726kbps」を得て終了（Tsu）
26日 (水)	晴		Tsu	ビデオ撮影テスト。土星はなんとか撮れるが、木星は明るすぎて露出の調整が困難。うーん、拡大率を上げれば良いのかな？ それにしても黄砂がひどい。この黄砂、中国ではなく、戦乱のイラク付近から飛んで来たものらしい。うーん、何ともやりきれない！（Tsu）
29日 (土)	はれ	13名	中尾の、中島、艶島	三和中学校生徒 10名、保護者 2名、先生 1名 土星、木星、ペテルギウス、M42、シリウス（中島）
30日 (日)	晴	なし	艶島、小林マ、松野	花見客はいたけど、天文台には来台者ありませんでした。双眼鏡の架台が壊っていました。（小林マ）

B5のたわごと

あつという間に桜の花が、咲いたと思ったらもう終わり。季節は慌ただしく過ぎ去つて行きますね。週末は程良く晴れた日があったので、花見、いや、星見も出来たことでしょう。ね。私の場合、世間と少しずれておりまして、平日が休みなので、ことごとく雨に当たりました。もう嫌ってくらい雨でした。何かした?ねえ、何かした?おーい

☆5月の天文現象＆行事☆

- 1日（木） 新月（21：15）月の距離が最遠（40万6532km 本年最遠）
- 2日（金） 八十八夜 火星が西矩（0.0等 視直径09.5° 06：21）
- 3日（土） ガニメデの影に付が入る（20:56本影の部分食 継続時間7.9分 減光量95%）
- 5日（月） はくちょう座RTが極大（周期190日 6.0～13.1等）
- 6日（火） みずがめ座η流星群が極大
立夏（りつか…太陽の光熱いよいよ強く、夏の始まり）
- 7日（水） 水星の太陽面通過（14:12～19:31） 水星が内合（15：32）
- 9日（金） 上弦（20：53）
- 10日（土） りょうけん座Rが極大（周期329日 6.5～12.9等）
トークアバウト（20:00～ 天文台にて）
- 11日（日） NPO法人熊本県民天文台総会（予定）
- 16日（金） 満月（12：36 アメリカ・ヨーロッパ方面で皆既日食）
- 17日（土） うみへび座Sが極大（周期257日 7.2～13.3等）
- 21日（水） 小満（しょうまん…陽気が良くなり万物が満ちる）
- 23日（金） 下弦（09：31）
- 29日（木） 金星の食（-3.9等 13：47～15：17）
- 31日（土） 新月（13：20）アイルランド等で金環日食

特定非営利活動法人熊本県民天文台機関誌 「星屑」 2002年5月号 通巻338号

発行所 熊本県民天文台事務局 ☎ 861-4226

熊本県下益城郡城南町塚原古墳公園内 熊本県民天文台

TEL 0964-28-6060

振替口座 01980-0-24463

熊本県民天文台事務局 星屑担当 中尾 富作

ホームページ <http://astro.magma.ad.jp/>